



ほんまもんの改革

「後期高齢者医療制度」 この法律! 絶対に許せない!



●75歳で線引きする根拠無し!

第一に早期発見、治療のための検診をはじめ、受けられる医療を制限しているのは問題です。滞納したら保険証を取り上げたり、末期医療をやめろと言わんばかりの制度です。「お年寄りはお放しおけ!」ともとれる天下の「悪法」と呼べるのではないのでしょうか。そもそも、医療費削減という「基本方針」そのものが間違っています。

●廃止法案を参議院に提出!

民主党など野党4党は5月23日、後期高齢者医療制度廃止法案を参院に提出しました。(1)保険料の年金からの天引き中止(2)この制度を廃止し、従来の老人保健制度に戻す等々が主な柱です。廃止時期についても、保険料天引き中止は10月から、制度廃止は来年4月からとしています。

●保険料の年金からの天引き中止を!

法案に制度廃止だけでなく、保険料天引き中止を盛り込む狙いは、来年4月の制度廃止までの「経過措置」です。従来通り保険料を銀行などで振り込むというシステム上の変更にとどまることから、財源に穴を開けないという利点もあります。

●これこそ官僚主導政治の机上の空論!

現実の国民生活に大きな影響を与えることを全くかえりみない提案は、官僚に政策を丸投げしているからです。そして、政府与党は2年前に十分な議論もせず強行採決したのです。何より、弱者である高齢者だけの「保険」は成り立つはずがありません。サラリーマンが加入する健保組合や政府管掌健保も大幅な負担増です。道路利権や官僚の天下り確保のために税金をムダづかいする一方で、医療や福祉といった国民生活のたいせつな分野にしわを寄せる政治をストップするには政権交代しかありません。

まっすぐ
清廉政治。

